



聴覚障害児

支援だより

No. 1

令和4年6月発行

手話で『支援』

岡山県立岡山聾学校 きこえの相談室



聴覚に障害のある子どもへの支援をしています

岡山聾学校では、聴覚に障害のある未就学児から学齢期の子どもたちを対象に、ご本人や保護者、また先生方や関係する方々などへの相談・支援を行っています。

- お医者さんに難聴と診断され、わが子の将来が不安だ。
- 聴覚に障害のある子どもにどう接すればよいか分からないので教えてほしい。
- 補聴器や人工内耳について教えてほしい。

など、いろいろな要望におこたえします。

電話、Fax、メール等の方法でお気軽にご相談ください。

岡山聾学校 きこえの相談室

Tel : 086-279-2127 Fax : 086-279-8960

E-mail : okaro08@pref.okayama.jp (きこえの相談室専用アドレス)



令和4年度 聴覚障害教育に関する研修会のご案内

今年度は、岡山大学病院 耳鼻咽喉科 講師 片岡 祐子 氏の講演をYouTubeにて期間限定で配信します。合わせて、本校教職員による講座も用意をしています。

配信期間は 8/19(金)～8/25(木)の予定です。参加費は無料です。詳しくは、同時に送付しました「聴覚障害教育に関する研修会ご案内」をご覧ください。



その他の本校主催の行事について

オープンスクール

7月28日(木) 高等部のみの公開

9月21日(水) 全校公開



サマースクール

(小学1・3・5年生の難聴学級在籍児童を対象とした発音明瞭度検査やワークショップ等)

7月21日(木)に行う予定です。

公開講座

「聴覚障害の基礎知識(仮)」

講師：医療法人さくら会 早島クリニック耳鼻咽喉科皮膚科 福島邦博氏

☆詳細は後日、本校HPにアップします。

☆難聴の子どもにかかわる先生方へ☆ ～配慮してほしいこと～

※通常お願いしている内容です。

話し方	話をするときには、教師の顔、特に口元がよく見えるようにする。 ・逆光にならないよう、教師が太陽の方に向く位置で話す。 ・板書しながら話さない。 ゆっくりすぎない普通の速さで、やや大きめの声で話す。 ・必要に応じて身振りをつけるとより分かりやすい。
座席の位置	「前から2、3列目」「中央、あるいは、やや窓より」の位置で。 ・教師の口元と友達の様子が見える位置が望ましい。
視覚情報の提供	文字やイラストなど視覚で理解できるものを使う。 ・主発問や大切な連絡などは板書するとよい。 ・歌い始め、読み始めなどは合図があると分かりやすい。 ・子どもの実態によっては具体物やイラスト、写真などを用いて学習を進める。
授業	友達の発言が聞こえているか確かめる。 ・指導者の声は聞こえるが、自分の席から離れた友達の発言の声は聞こえにくい子どももいるので、教師がさりげなくリピートするなどの配慮をする。 グループでの話し合いの際には当人にもわかる支援を。 ・グループでの話し合いの時間になるとにぎやかになり、誰が何を発言しているのか分からなくなる。別の場所を用意したり、意見を書いて回すシステムにしたりといった工夫をしている学校もある。
休み時間	孤立していないか気に留める。 ・にぎやかな休憩時間には友達とコミュニケーションがとれず孤立する子どももいるので配慮する。

現在、コロナウイルス感染拡大防止のため、先生も友達もマスクを着用している状況であり、難聴の子どもがいつも以上に聞き取りにくい生活を送っていることが予想されます。



少しでもストレスを軽減するため、

☆内容を理解できているか行動や表情に気を配る。

☆音声での指示に加えて文字やイラスト、身振りなどを意識して用いる。

などの配慮が必要です。よろしくお願いします。

